

## 開会あいさつ

### 尾縣 貢 専務理事

・コロナが収まらない中、いま私たちがやるべきはスポーツがしっかり進んでいるということ、オリンピックへの醸成を進めているということ伝えること。厳しい状況乗り越えていきたい。

### 鈴木 一弘 委員長

・コロナウイルスの影響で本来は一堂に会し議論なども行いたいところではあるが、このような形となったのでご容赦いただきたい。WAでもシューズのルールの変更を行ったり、コロナ対策で普段とは違う運営を強いられたり、競技会ではご苦労されていると思う。この会を有意義な会議としたいのでご協力をお願いしたい。

## 事務連絡

### 赤峰 俊彦 幹事

・短冊の配布について、会議システムの使用方法について。質問について。

## 公認審判用ウェアについて 青山商事株式会社

・後日、各団体に資料がメールで送付されるので、ご確認いただきたい。

## 競技会実施報告

### （日本選手権：新潟）

・コロナ対策のロールモデルになるよう意識した。アプリを使用して密集、密接を回避した。  
・準備期間が4か月といった短い期間で大会を開催した。今回のように競技運営のみで、大会費用も陸連負担で開催という形は願ってもできないもので、新潟陸協は本当にいい経験ができたと感謝する。

### （全国高校：広島）

・高校総体の中止、国体の延期で代替大会として開催した。感染症拡大防止のために無観客での実施、事前健康調査の提出、競技場入場の際にサーモグラフィカメラによる検温を実施した。

### （全国中学：神奈川）

・10月16日～18日の3日間で全国中学生陸上競技大会を実施した。感染症拡大防止のため各種目参加人数を制限した。神奈川県としても昨年はほとんど大会ができず、トラック&フィールドとしては年度内初の大会となった。そのためヒヤリとする事例もあり参加競技者ならびに関係者にはお詫び申し上げる。今回の経験を生かし今後の大会につなげていきたい。

## 施設用器具委員会報告

### 高木 良郎 施設用器具委員長

・第1種、2種の基本仕様の改正について。  
・公認陸上競技場の細則の改正、マーキングについて、第16条LJ, TJについて、1種、2種の踏切板設

置数について、レーンマーキングについて、用器具一覧、競歩の用器具名称について、150m, 145mのスタート位置について、障害物について、グループスタート時の代用縁石の置き方、粘土板の角度の変更、兼用サークルの表面仕上げについて、長距離競走路の注意事項、競歩路コースに35kmが追加されたことなどを説明。

## 2021年度競技規則修正提案

### 片岡 裕介 委員

・規則の構成体系が変更になり、CR（競技会規則）とTR（競技規則）に分かれる。  
・条文の番号体系も変更となる。具体的には、第〇条●項が、CR7、TR23.1、TR24.6.1のようになる。内容は大きく変わっていない。

### <2021年度修正のポイント>

・CR8 IT0s、JT0s、CR16.1技術総務、CR23.2出発係、CR31.3.5、TR4.3同時申込に関して説明。

・TR5.2競技用靴に関して、WAは昨年1月、7月、12月に改正。最新の規則でも、2021.8.8までが移行期間となっている。

・靴の種類が以下の4つに分類された。

①小売りされている靴。②カスタマイズされた靴。③開発段階での試作品靴。④オーダーメイドの靴。

・TR5.10アスリートビブス、TR6.3、T6.4助力、TR6.4.8、TR19.24.5トランスポンダーシステム、TR23.障害物競走、TR23.7.1、水濠の越え方について、TR39.8.5混成競技について説明。

・TR29.3走幅跳、三段跳のビデオ判定の導入と90度の粘土板使用は1年延期になった。

Q.（長野：酒井）シューズの底の厚さについて、混成競技は全ての競技が終了した時点で「日本記録」という場合があると思うが、その際、各種目の厚さのチェックはいつ行えば良いか？ 2日目が終わった後、1日目に使用したシューズのチェックでは意味が無いように思うが。

A.（委員会）競技を行う前に確認する必要はある。大会によって対応方法は異なってくるだろうが、事前に使用する靴を届け出てもらい「適合靴」がどうかをチェックする方法や、各競技の都度、ピットで計測する方法もあるかと思う。

## 審判手帳の利用方法について、記録の公認申請の迅速化について

### 関根 春幸 副委員長

・審判手帳の利用方法について注意事項伝達。  
・記録の公認申請について、現状30日以内としているが、いろいろな大会の資格記録として採用されることが多く、また、WAにも送信しなければならな

いので、迅速な記録申請をお願いしたい。

#### (分科会 A)

### ①競技カレンダー・記録 PT より

#### 1) 公認競技会開催申請 鍋島 太一 委員

・2021年度の申請は従来通りでお願いしたい。  
・申請処理の遅れについて、申請の注意点について、2021年度1次申請/手順、その他注意点について説明。

#### 2) 記録用紙の改訂 片岡 典子 幹事

・番号、ルール変更、使い勝手の良さ、役割の再確認、を反映して改訂を行った。  
・大きく変更した監察員記録用紙・日本記録申請書の説明。日本記録申請にあたってのお願い。

### ②広告展示物規則 PT より

#### 1) 広告規程改訂 杉本 太郎 委員

・2019年11月に条文が大幅に改定された。2020年1年かけて和訳、検討作業等行い、今回お示しする。条文をWAの条文に合わせた。主に国内の大会に適用するのは、C7.1、C7.4、C7.5となる。

Q. (青森：川下) ③国内大会(学校用)で、学校名の他に「都道府県名」も表示している学校もありますが、「学校名+都道府県名」は大丈夫でしょうか？

Q. (新潟：蕪木) ユニホームの前と背中に違う文字の入っているチームが多いですが、問題はありますか？例) 胸は学校名、背中は都市名やローマ字表記など。

A. (杉本) 学校名の表記は、前は漢字、後ろはローマ字でも可。前が学校名、後ろに学校名の代わりに都道府県名について、スポンサーを入れるのと同じと考えて大きさ40cm、高さ5cmなら可。

#### (分科会 B)

### ①S級審判昇格審査報告 羽田 雄一 幹事

・コロナの関係で、過去6年間の競技会の回数、審判講習会をカウントした。5名の方を昇格不可としたが、講習会か競技会の回数が少なかった。  
・申請に際しての問題点を指摘。

### ②審判ハンドブック PT より

#### 1) ハンドブック改訂の概要 関 隆史 幹事

・今回のハンドブックで工夫したことは、再レースなどの所作を具体化したこと。  
・今回はコラムの欄、グループスタートにおける緑石の置き方について説明。

#### 2) オリパラマニュアルについて 関 隆史 幹事

・今後、TDのチェック、テスト大会を通して、A5版で発行予定であるが、PDF版になるかもしれない。現在、WAからの新型コロナウイルス感染症予防対策について、マニュアルに落とし込んでいく状況である。

### ③審判員研修 PT より

#### 1) C級審判員創設について 本橋 郁子 委員

・2021年度より導入、16歳になる年度より取得可能。業務内容には制限がある。  
・取得例の流れを説明。(モデルとして)  
・講習会について、取得後の委嘱について、活動の制限について、識別について説明。  
・新制度の周知が必要。これにより1人でも多くの若者が陸上競技とかかわっていただけるように準備を進めていただきたい。

Q (東京：古澤) C級からB級への昇格であるが、B級の更新講習を受けるべきではないか？

A (関根) 座学については、新規B級講習会をお願いしたい。実技講習会は免除しても構わない。

#### (全体会)

#### 分科会報告 (分科会 A) 関根 春幸 副委員長

#### (分科会 B) 鈴木 一弘 委員長

・それぞれの会議の内容について報告。

#### JTO・JRWC規程の改定、オリンピック・パラリンピック準備状況 鈴木 一弘 委員長

・JTO、JRWCの制度を改定。登録料の徴収、定年の延長について。

・昨年3月24日にオリンピック延期が決まって、ゼロからやり直すところがたくさんあり、費用面での調整、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策など多岐に渡り、現在も調整中である。

・5月9日に国立競技場でオリンピックのテストイベントが日本陸連と組織委員会が主催で行われ、5月11日にパラリンピックテストイベントがパラ陸連と組織委員会が主催で行われる。

・マラソンについては5月5日に札幌で札幌マラソンフェスティバル2021という名前で行われる予定。皆様にも引き続きご協力いただきたい。

#### 全体質疑応答

Q. (長野：小林) グループスタートの代用緑石は、全線に置くことが望ましいが、競技場に代用緑石が足りない場合は、一本おきに置くことは今後よろしいのでしょうか。

A. (委員会) 整備されるまでは、それで構わない。

#### 事務連絡 赤峰 俊彦 幹事

・修正した資料について、質問について。

#### 閉会あいさつ 鈴木 一弘 委員長

・オンラインでの会議であったが、対面での方式と違ったものがあり、これを反省点として、来年度の会議につなげたい。

・伝達講習会についても、昨年度の反省について報告をしていただきたい。講習会については、誤解のないように伝えていただきたい。

・陸上競技界を良い方向に持っていただきたいと思うので、今後ともご協力をお願いしたい。